

## 丹波篠山市立篠山東中学校 『学習・生活に関する学力向上プラン』

本校では、毎年、中学3年生を対象に実施される全国学力・学習状況調査の結果をもとに、『学習・生活に関する学力向上プラン』を作成しています。

以下に、今年度の調査結果を分析し、まとめましたので報告いたします。本調査により測定できるものは学力の特定の一部分であることや、学校における教育活動の一側面であることを踏まえつつ、保護者・地域の皆様のご理解とご協力のもと、適切に連携を図りながら、一層の指導の工夫改善に努めてまいります。今後も引き続き、本校の教育活動に対してご支援いただければ幸いです。

### 丹波篠山市学力・生活習慣状況調査結果の概要

#### 〔比較について〕

- ・本校の正答率が全国値に対して+5ポイント以上 【高い】と表現
- ・本校の正答率が全国値に対して差がない 【同程度】と表現
- ・本校の正答率が全国値に対して-5ポイント未満 【低い】と表現

#### ○国語科では、

全国値と同程度で、基礎的な内容は理解できています。領域別では、【言葉の特徴や使い方に関する事項】【我が国の言語文化に関する事項】【書くこと】【読むこと】の領域において全国値より高く、また、観点別においては、「思考・判断・表現」の観点において全国値より高い状況でした。ただし、問題別では、「情報の扱いに関する事項」の領域においては課題がみられました。

#### ○数学科では、

全国値より高く、とても良好な状況です。領域別では、【図形】【関数】【データの活用】の領域において全国値より高く、観点別においても、「知識・技能」「思考・判断・表現」の観点において全国値より高い状況でした。問題別では、偶数を文字を使って表す問題や箱ひげ図の読み取りに課題がみられました。

#### ○学習習慣・生活習慣等についての意識調査では、

「自分には、よいところがある」「学校に行くのは楽しい」「自分と違う意見について考えるのは楽しい」「いじめは、どんな理由があってもいけない」「人が困っているときは、進んで助ける」という質問に対し、肯定的な回答（「当てはまる」と回答）をした生徒が多くいました。また、「学級活動で話し合い、互いの意見の良さを活かして解決方法を決めている」という質問に対しては、肯定的な回答（「当てはまる」と回答）をした生徒の割合が全国値より高い状況でした。

### 現在の課題および今後の学力向上方策

#### ○国語科

上述の通り、課題となっている「情報の扱い方に関する事項」の力を高めるために、授業の中で必要な情報を文章やグラフから読み取る練習を増やし、身近な例を使用することで有用性や親しみを持たせ、内容の定着をめざします。

#### ○数学科

偶数、奇数や3の倍数等の文字を使って表したり、事象をもとにした数式の意味を理解したりする力が必要であると考えられます。また、箱ひげ図をもとに四分位数や四分位範囲を理解し、データを分析する機会を増やすよう心がけます。

#### ○『学習習慣・生活習慣等についての意識調査』

「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげる」「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができる」という質問において全国値より低い状況でした。家庭学習の時間についても、少ない傾向にあります。また、携帯電話・スマートフォンに関して、「家庭での約束事がない」と回答した生徒が多くいました。情報機器の取り扱いに関しては、家庭と連携しながら、改めて見直す機会にしたいと考えています。

#### 【保護者へのお知らせとお願い】

本校では、今回の調査結果を生かし、お子様一人一人についての学習のあり方や生活習慣について指導方法を検証し、取組を充実させていきます。ご家庭におかれましても、お子様の家庭学習の様子や生活習慣について今一度ご確認いただきたく存じます。子どもたちの持てる力をさらに伸ばしていくためには、何より周囲の支えが必要です。個々の成長、そしてより良い集団づくりのためにも、学校と家庭・地域とが連携して子どもたちを支えていけますよう、ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。